

報道関係各位

2012年5月18日

— 東日本大震災遺児 支援 —

「大東建託グループあしなが基金」を設立！

大東建託グループでは、東日本大震災の遺児支援を継続して支援することを目的に「大東建託グループあしなが基金」（以下、基金）を設立しましたのでお知らせいたします。

記

1. 設立背景／被災地社員からの提案で決定

- 震災から一年が経過し記憶が薄れる一方、東日本大震災による津波で保護者が死亡もしくは行方不明という困難に立ち向かっている子ども達たちは、2,000人を超えております。（あしなが育英会調べ）
- このような震災遺児の現状を踏まえ、「被災した子ども達に息の長い支援を続けていきたい」と被災地社員から提言を受け、このたび当社は基金の設立を決定しました。

2. 基金使途／震災遺児のケア施設へ寄付

- 基金は「あしなが育英会」様が進める「東北レインボーハウス」などの震災遺児ケアを目的とした施設の建設資金、運営費として利用します。

※ あしなが育英会（東京都千代田区）

病気や災害などで親を亡くした遺児や災害で重度の障害を受けた家庭の子どもに、奨学金の提供や様々な支援活動をされており、東日本大震災では、震災二日後に一時金給付。そのスピードと機動性が国内外で注目されました。（あしながニュース2011年活動報告より）

3. 大東建託グループあしなが基金／社員有志から毎月継続寄付

- グループ有志社員から、毎月、1口200円で5口まで寄付を募ります。
（大東建託グループの従業員数は、2012年3月末で13,875名在籍）
- 当面、5年間で基金継続の最低支援期間といたします。

4. 「社員＋会社」一体の支援活動／『マッチングギフト制度』導入

- 当基金の設立、活動実施に併せて、大東建託では、「マッチングギフト制度」を導入。企業と社員が一体化した支援活動を実施します。
- 毎月の寄付金額と同額を、大東建託がマッチングギフトとして寄付します。

※ マッチングギフト制度

従業員が社会・環境団体に寄付を行うことを支援する取り組みです。参加する従業員からの寄付金に、会社から同額を上乗せし、寄付を行う制度です。

5. 社員有志が賞与の一部を寄付金として贈呈

- 4月16～24日に実施した当社の全国会議で募金箱を設置し、寄付金を募りました。また、当社はおかげさまで、昨年度も4期連続の増収増益と好業績をあげることができ、賞与の一部を基金に充てたいとの社員有志から募金が寄せられました。集まった約1,500万円は早速、東北レインボーハウスを進める「あしなが育英会」様に寄付いたしました。



あしなが育英会理事 吉田事務局長に、大東建託社員より、今回集まった1,500万円を寄付し、その目録をお渡ししました。

<この件に関するお問い合わせ先>
大東建託株式会社・経営企画室
TEL (03) 6718-9068